

先達に学ぶ 夏の夕べ

日本初の女医 楠本イネに思いを馳せる



日時：2018年8月25日（土）16：00～

場所：曹洞宗 皓臺寺（こうたいじ）

長崎市寺町1番1号 電話095-823-7211（代）

主催：ながさき女性医師の会

協力：長崎大学病院

メディカルワークライフバランスセンター



日本人初の女性医師は、1827年(191年前)に長崎に生まれた楠本イネです。

オランダ商館医シーボルトの娘は、実父の依頼で門下の高良斎、二宮敬作、石井宗謙らに育てられ、長崎養生所雇教師ポンペ、ボードインらに学んでいます。その技術を評価されて、上京後には、宮内省御用掛にも任命されました。

当時稀な混血児として差別をうけて育ち、医術開業試験が女性に開かれたときには、すでに57才で受験を断念するなど、苦難の人生…。

8月26日の命日を前に、イネ女史のお墓参りをして、この長崎で医学をめざした彼女の声を聴いてみませんか。



日程

16:00 皓臺寺に集合

16:00 お話「楠本イネの生涯」 山本芳江さん(長崎女性史研究会会員)

16:45 お墓参り

17:30 会食(場所未定)

多くの医師・医学生のみなさんのご参加をお待ちしています。

お問い合わせ

ながさき女性医師の会：黒崎 TEL095-882-2125 FAX095-882-7288

メールアドレス：jo.net.nagasaki@gmail.com

参加申込〆切 8月18日

